

私たちのコメを守りましょう  
私たちの稲作文化を祝いましょう



Celebrating and  
Protecting Rice Culture

## アジア市民コメ行動週間

2007年3月29日～4月4日

日本にとってコメは主食であると同時に文化の基礎をなすものです。ところが実際は、今年から小規模農家をつぶし大規模生産への集約をはかり、かつ遺伝子組み換えイネを推進する国の政策によって、日本の稲作は危機に瀕しています。このような危機的状況は他のアジア諸国にも共通する問題です。

日本を含むアジアの13カ国が参加する「アジア市民コメ行動週間」では、アジアの稲作文化の重要性和、稲作文化を脅かすさまざまな問題を世界に向けて提起していきます。

遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーンは、日本のコメを守るために様々な取り組みを行い、その行動を世界に発信していきます。私たちのコメを、稲作文化を守りましょう。

遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン  
<http://www.no-gmo.org>

# 2007年

## 「アジア市民コメ行動週間」のテーマは 稲作文化を祝い、守る

今、日本では遺伝子組み換えイネの研究開発と試験栽培が進められています。農林水産省に関連する研究機関が、生産者や消費者の反対を押し切って開発しています。世界でも、遺伝子組み換えイネの研究開発が進められており、コメを主食にするアジアの人々が怒りの声をあげています。

コメを主食とするアジア 13 カ国では、3 月 29 日から 4 月 4 日の 1 週間を「アジア市民コメ行動週間」(WORA: Week of Rice Action)と位置づけ、さまざまな催しが企画されています。最終日の 4 月 4 日は、フィリピンにある国際イネ研究所(IRRI)の 47 回目の設立記念日にあたり、IRRI を取り囲んでの抗議行動を予定しています。

アジア市民コメ行動週間は、農薬に頼らない持続可能な農業を推進する草の根団体「農薬行動ネットワーク・アジア太平洋」(PAN AP、本部マレーシア・ペナン)に参加するグループのネットワークが取り組んでいます。参加しているのは、インド、バングラデシュ、ネパール、パキスタン、スリランカ、フィリピン、マレーシア、カンボジア、インドネシア、タイ、韓国、中国、そして日本の 13 カ国。2 月 24 日から 26 日にかけてバングラデシュの 4 地域で大規模なデモや文化イベントが行われるのを皮切りに、4 月 4 日のクライマックスに向け、演劇、地元食材を使った料理コンクールなど、多種多様な行事が予定されています。

### ● 国の政策と研究機関に脅かされるアジアのコメ

アジアでは、1960 年に設立された IRRI が推進した「緑の革命」によって、単一品種のイネを大規模に栽培するようになり、種の多様性が急速に失われました。IRRI の推進した農薬を多用する農法によって、農作業をする女性や子どもたちが深刻なアレルギーに苦しんでいます。その IRRI が、今度は遺伝子組み換えイネを推進しています。しかも日本政府は IRRI に大規模な資金援助を行っています。

### ● アジアに存在する優れたコメの品種と文化

コメはもちろん重要な主食ですが、単に食べ物であるにとどまらず、地域の祭りなどに代表されるように、アジアの文化の根底をなし、精神の中心でもあります。このような貴重な稲作文化までもが、IRRI に象徴される工業的な農業によって危機にさらされています。

何千年にもわたって受け継がれてきたコメ、そして稲作文化を  
これからも守り続けていきましょう！



遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン

〒162-0042 東京都新宿区早稲田町 75 日研ビル 2 階 Tel:03(5155)4756